

研究課題：胸部手術術前症例への経皮的胸部超音波を用いた胸膜癒着の評価に関する研究

実施責任者：	放射線科	医員	太地良佑
実施分担者：	放射線科	教授	吉川公彦
	総合画像診断センター	病院教授	平井都始子
	中央放射線部	准教授	高濱潤子
	総合画像診断センター	講師	丸上永晃
	総合画像診断センター	助教	岡田博司

研究目的：胸部手術では胸膜癒着の程度が手術の難易度や手術時間を反映します。術前から胸膜癒着の程度を評価することでより安全に手術に臨むことができます。そこで今回は、GE healthcare 社の LOGIQ E9 を用いて胸膜の癒着について評価検討します。さらに従来の方法以外に、より正確で簡便な評価方法の探求を目的とします。

研究意義：術前から胸膜癒着の状況を把握することができるようになることから、癒着のない箇所からのアプローチの検討や手術時間の把握が可能になると考えます。また、対象となる超音波検査は侵襲性が低く、胸部CTと比べて胸膜の微細な構造の把握に優れており、呼吸変動と合わせてリアルタイムに胸膜の運動を観察できるため必要不可欠な検査です。胸部超音波にてどれほど正確に胸部癒着の程度を評価できているか、また新たな評価方法を探求します。

対象：研究対象者は当院で 2017 年 4 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の間に胸部手術を検討されており、上記の超音波装置で胸部超音波（胸部エコー）検査が実施された患者です。対象者数は約 100 例を予定しています。

研究期間：この研究は、奈良県立医科大学の医の倫理委員会承認年月日から 2019 年 12 月 31 日まで行う予定です。

研究方法：上記研究期間の間に撮像された胸部超音波画像を検討し、胸膜癒着について画像所見の検討項目を評価し、データを数値化します。患者様情報として利用するのは、患者様の年齢・性別・疾患名を利用する予定です。

当該研究に参加することにより期待される利益および起こりうる危険ならびに必然的に伴う心身に対する不快な状態について：対象患者様が受ける不利益はありません。ご協力いただけることで、術前より癒着状況がわかり手術時間の把握やより低侵襲な手術計画を立てることができます。

承諾拒否について：当該研究にご承諾いただけない場合でも対象患者様が不利益を受けることはありません。

個人情報の取り扱い：収集した情報は名前、住所など患者様を直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会などで発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

その他：この研究のために、患者様に新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる患者様に謝礼はありません。この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。本研究は奈良県立医科大学医の倫理委員会により承認されています。

上記の研究の対象に該当する患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合には、奈良県立医科大学附属病院放射線医学教室までご連絡ください。

問い合わせ先：太地 良佑（奈良県立医科大学 放射線科）

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840

TEL 0744-29-8900

e-mail rad@narmed-u.ac.jp